

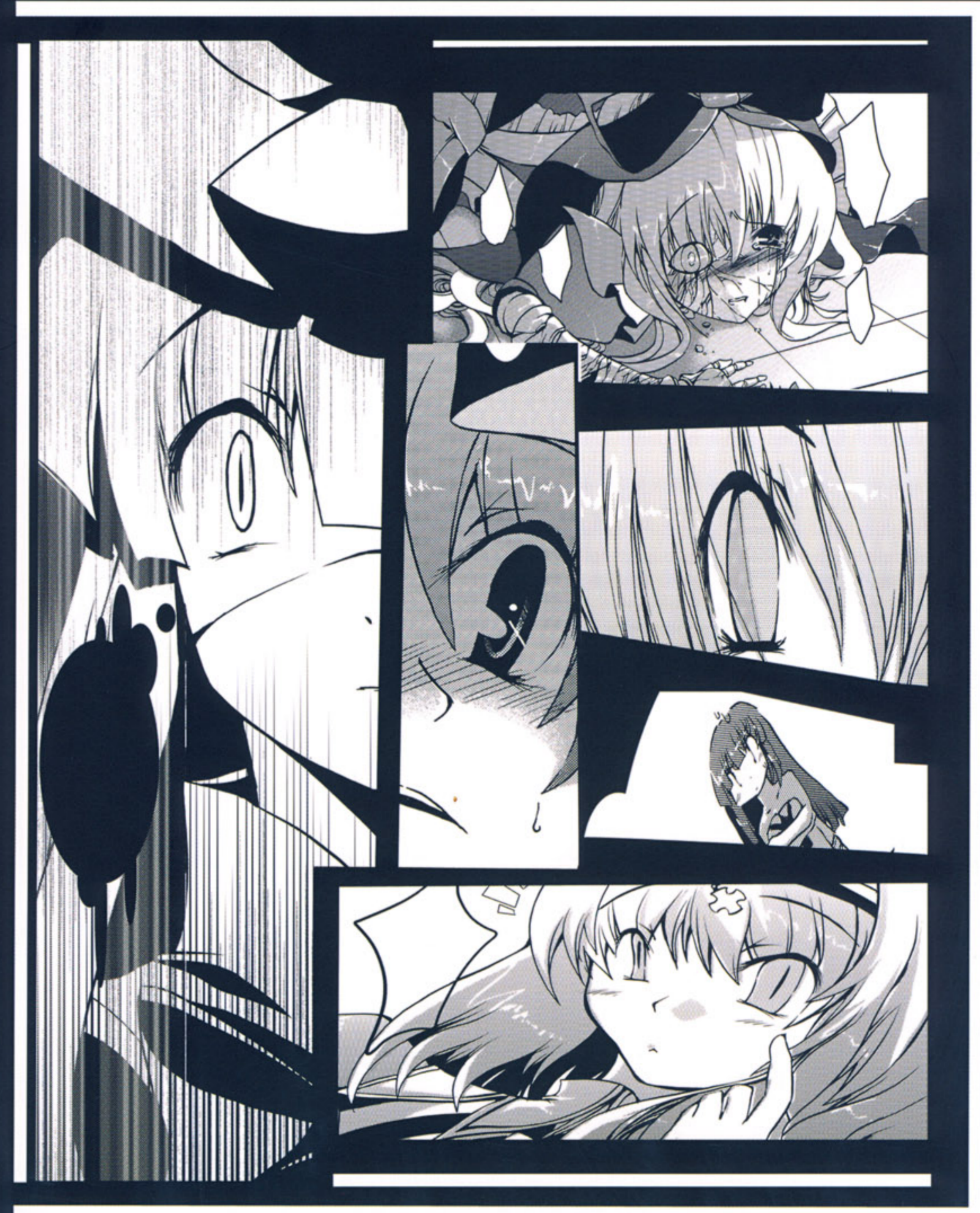
人形の誓いと
魔女の過去③



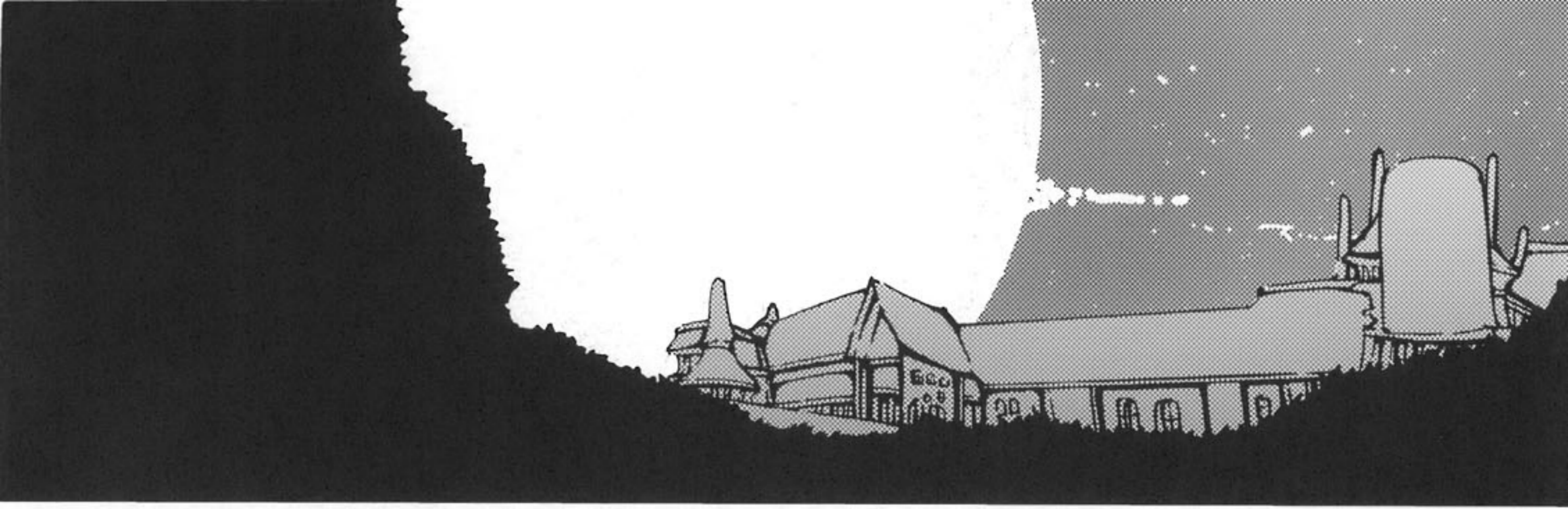
アリスとパチュリー、二人の様子を覗きに
パチュリーの寝室へと足を運んだレミリアの目に映った物は
今にも朽ちようとしているアリスの従者、上海人形だった。
同時にそこにあったアリスの姿までも突如消失し、困惑するレミリア。
また、同時刻。夢か現が定まらぬ世界で
アリスは一人の少女と出会っていた—

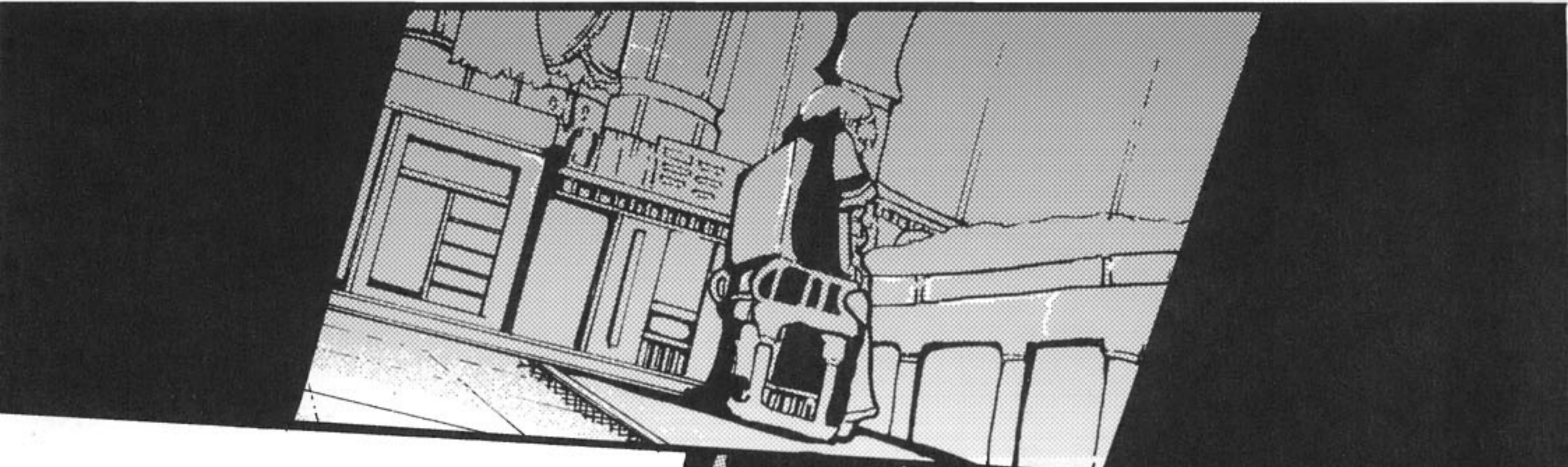
物語は、時を遡り。因果の根源へと足を運ぶ——
—少女の過去—

少女の目に映る世界——



少女の目に移らぬ世界——





お嬢様

咲夜……？

やはりこちらに
いらっしやったのですね



それでお嬢様が体調を
壊してしまつては

逆にお二方に心配を
かけてしまいますよ？



お二方をご心配
なされるお気持ちも
わかりますが



……ん
そうね……



戻りましょうか

さ……



今のはい一体……!

アリスッ!

パチエ!

一体どうし……



騎士さんっ!?

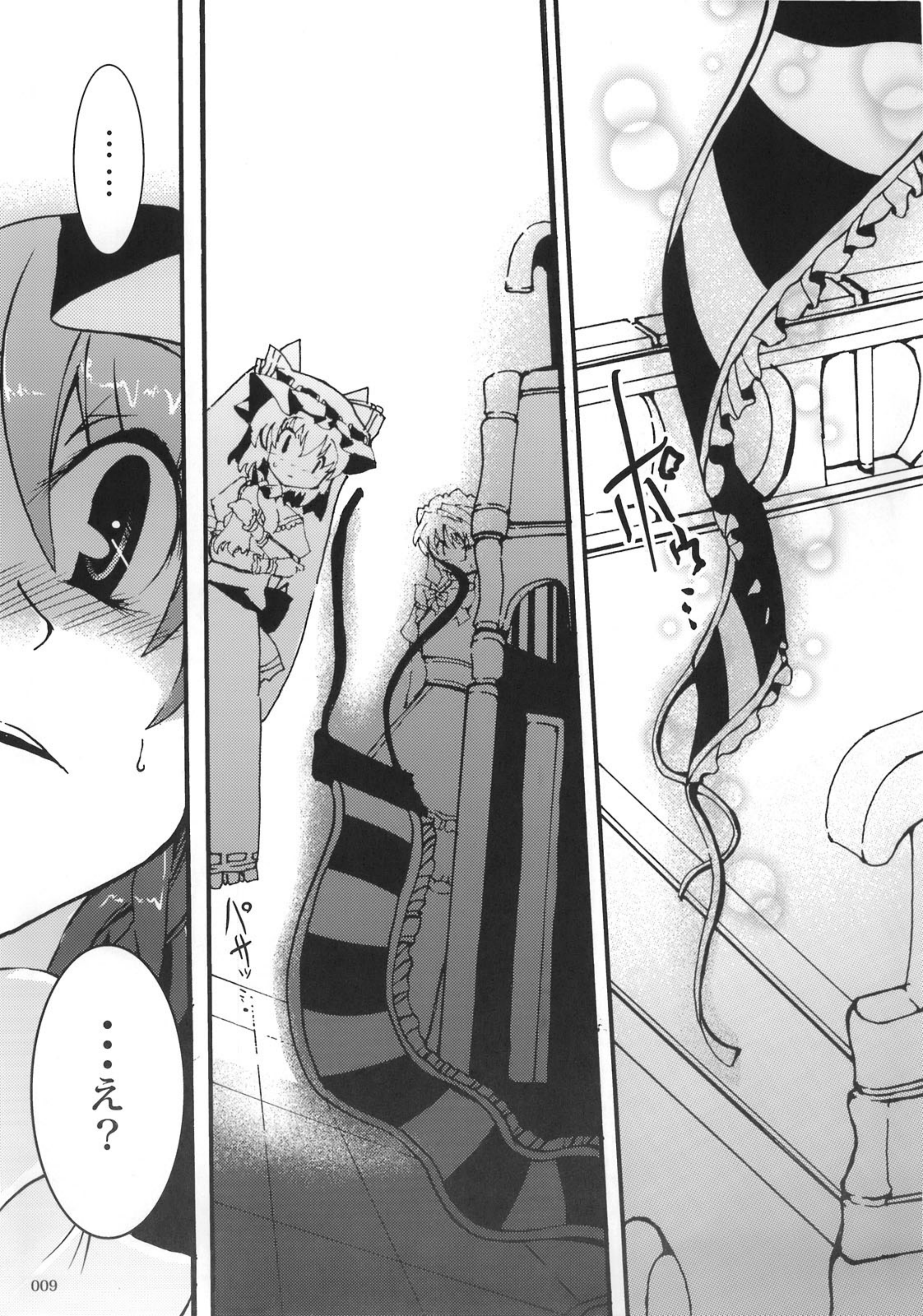
何で…!

魔力が
切れかけてる…



お嬢様





.....

……？



これは……
一体……

騎士さんっ!?
しっかりして
騎士さんっ!



定着している思念が
離れかけてる……

このままじゃ
騎士さんの固体が
消滅してしまう……



私の魔力が
騎士さんに合うか
分からないけど……

魔力の供給を
試みるわ!
咲夜!力を貸して!

勿論です!

手遅れにならない内に
急ぎましょう!



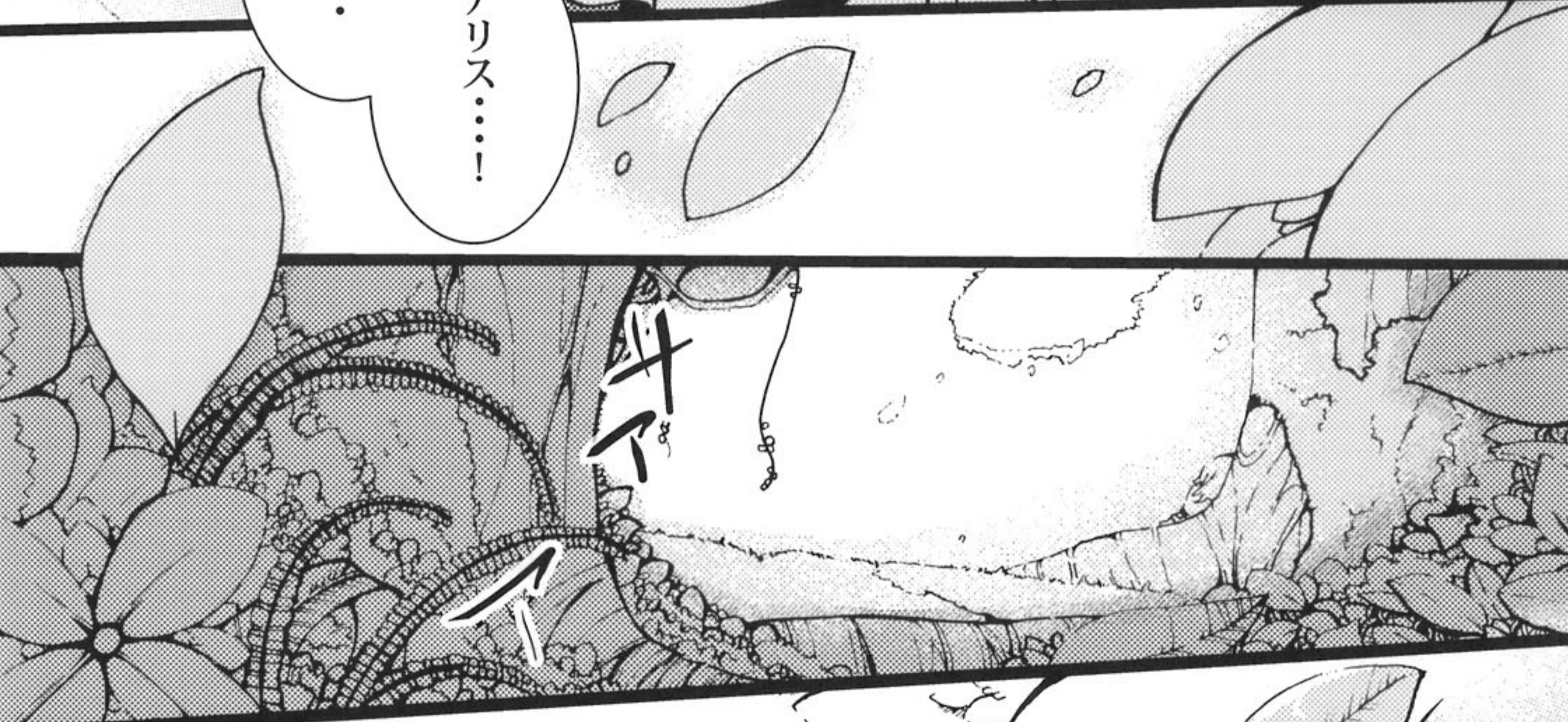
一体…

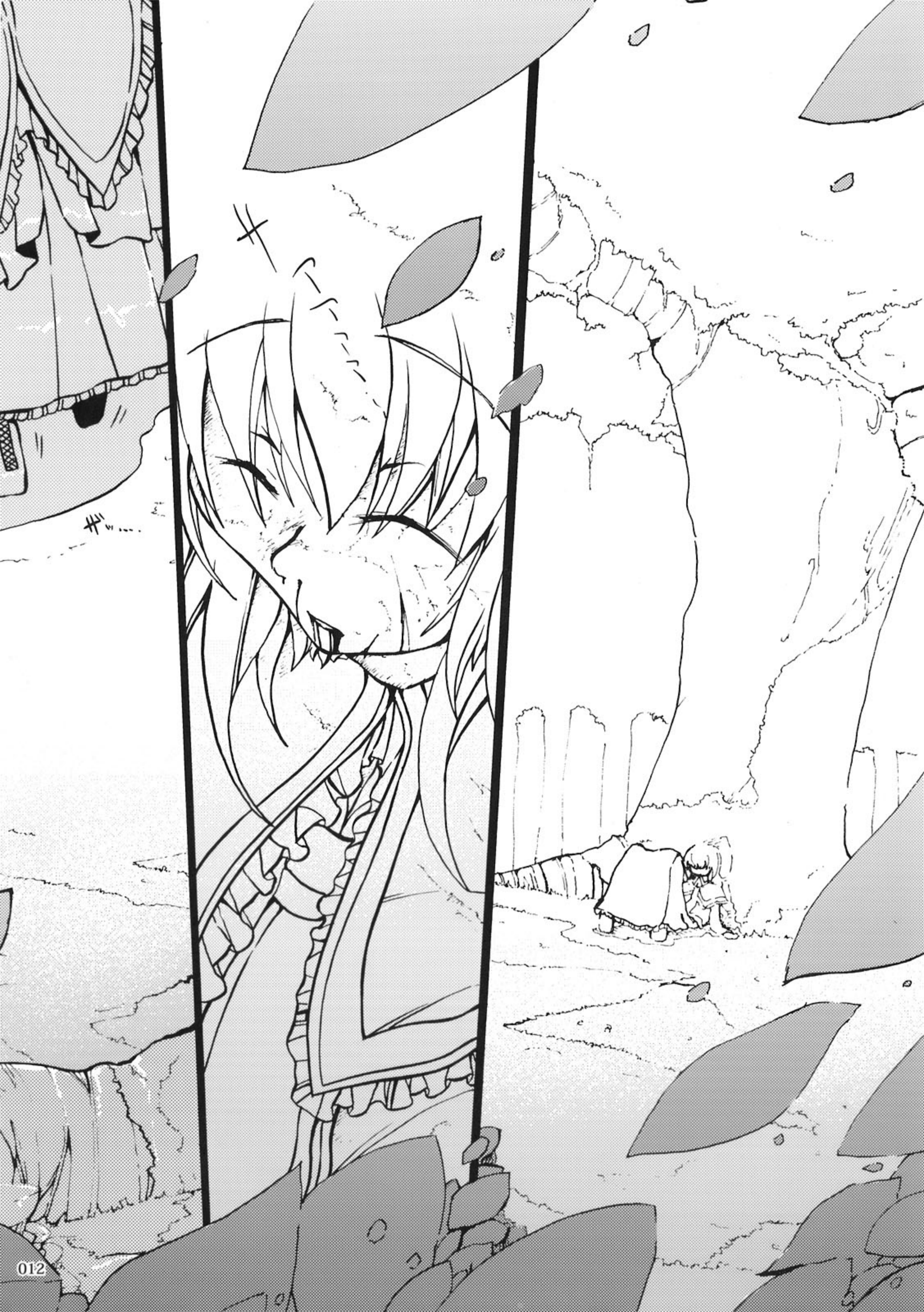
何が起きてると言うの？

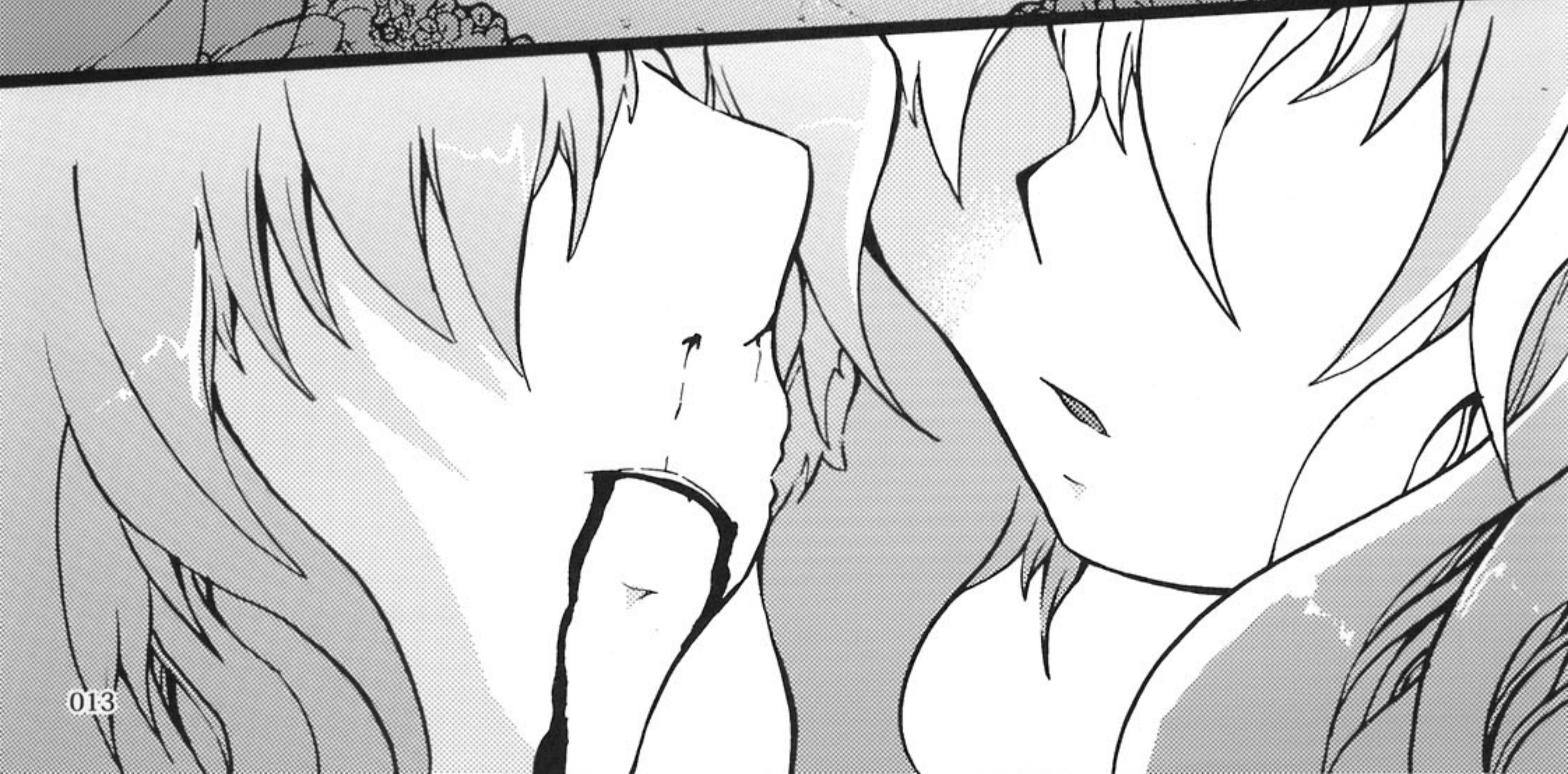
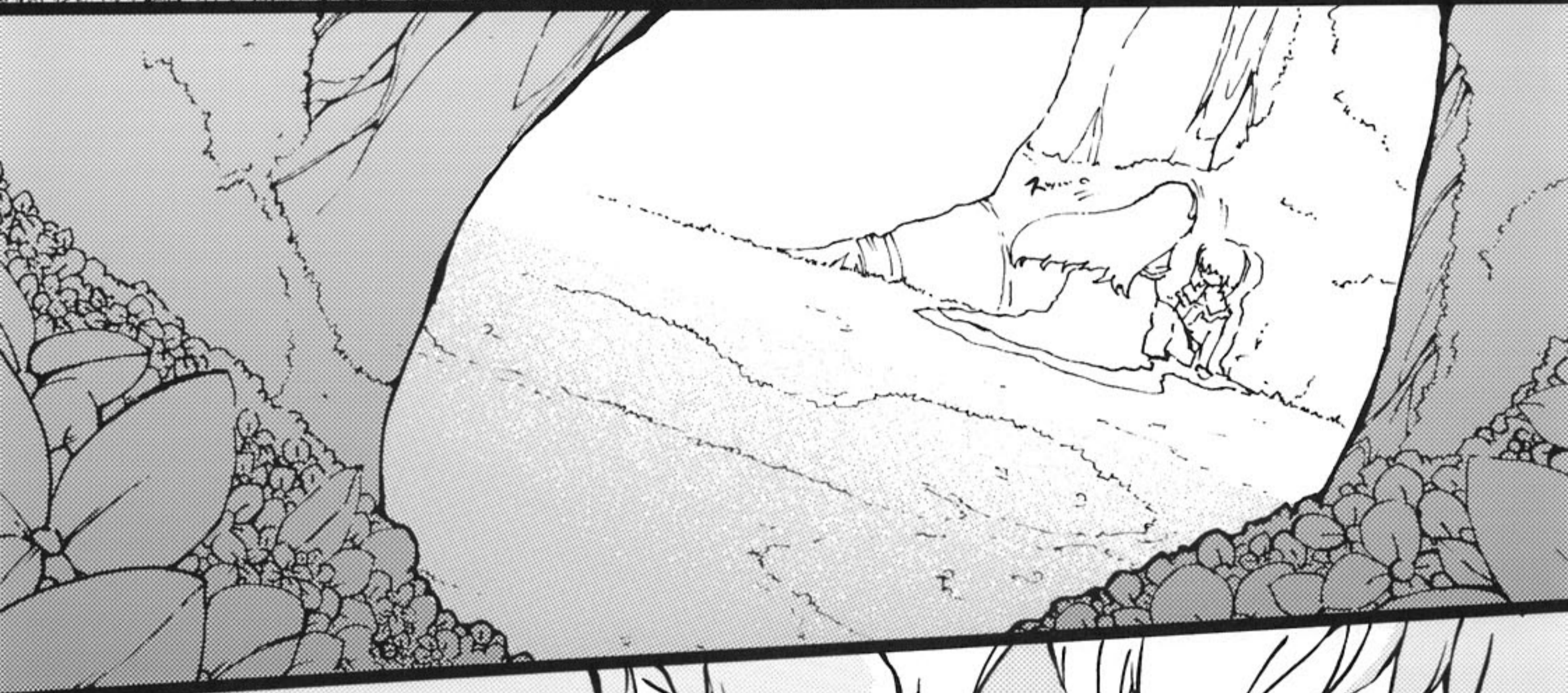


パチエ…

アリス…!!











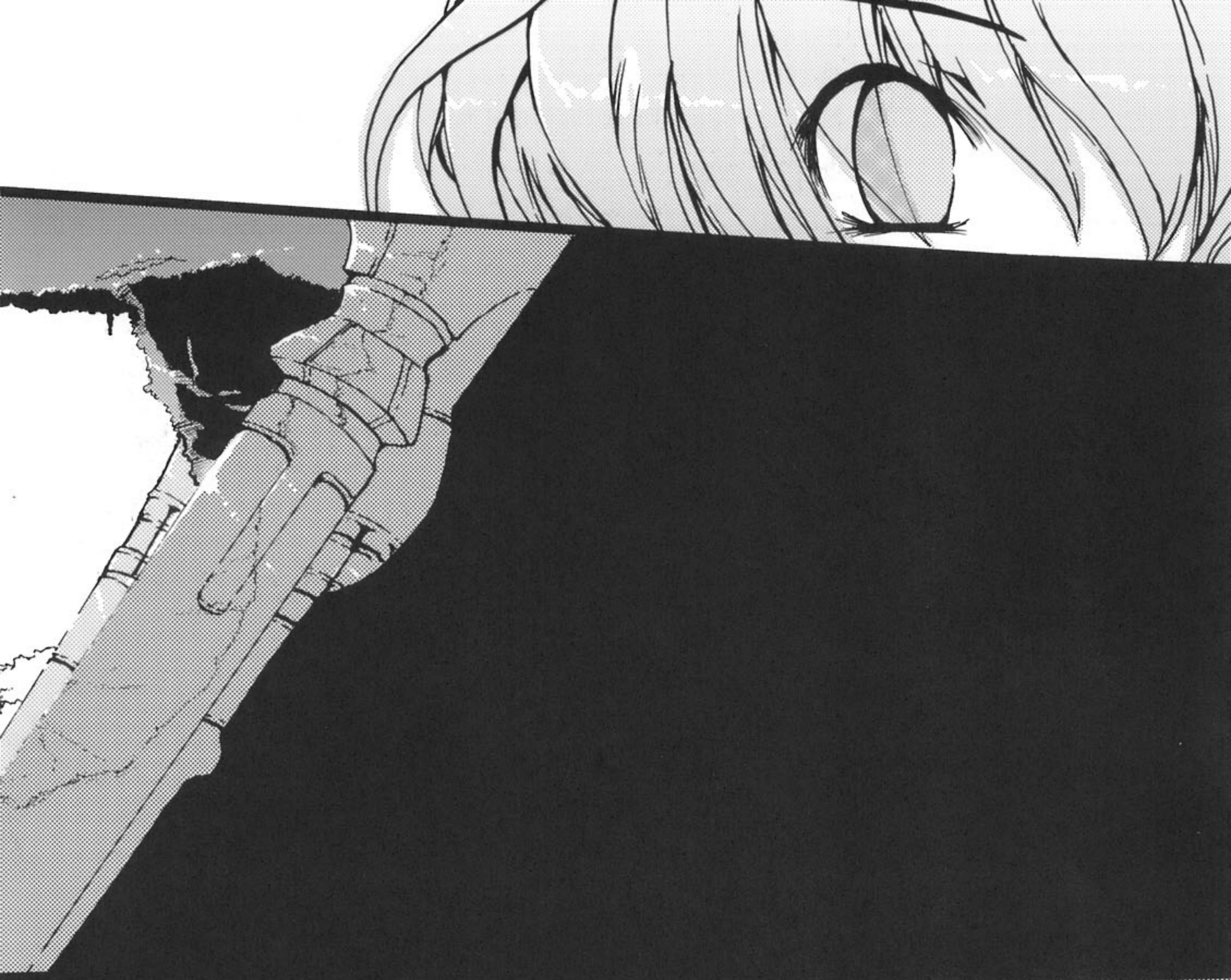
原作……上海アリス弦楽団

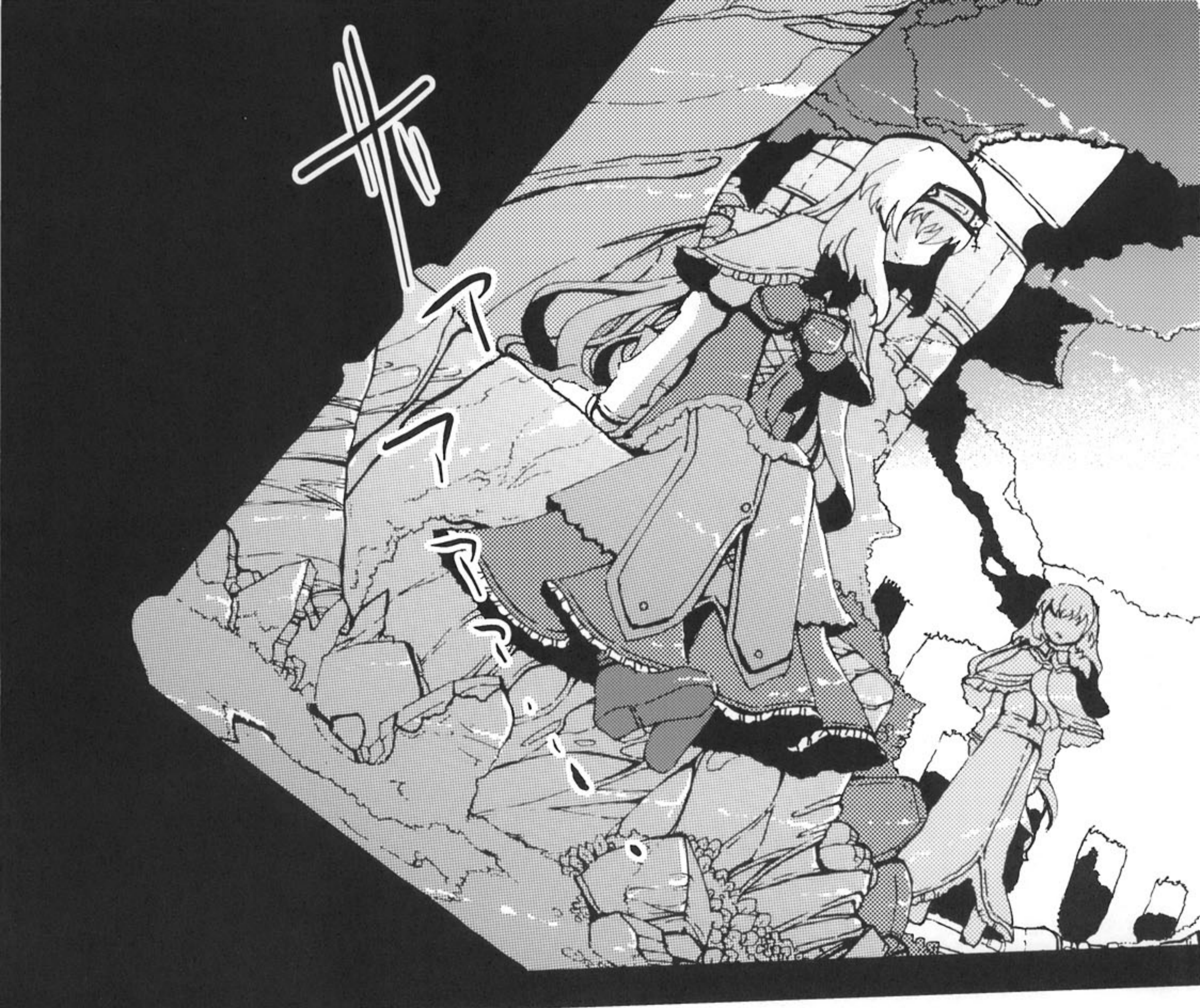
東方プロジェクトファンブック⑧

人形の誓いと
魔女の過去
③

- Scene5 -
魔女の過去 I -神に仕えし悪魔の瞳- …… 018

- Scene6 -
魔女の過去 II -薔薇十字団- …… 057







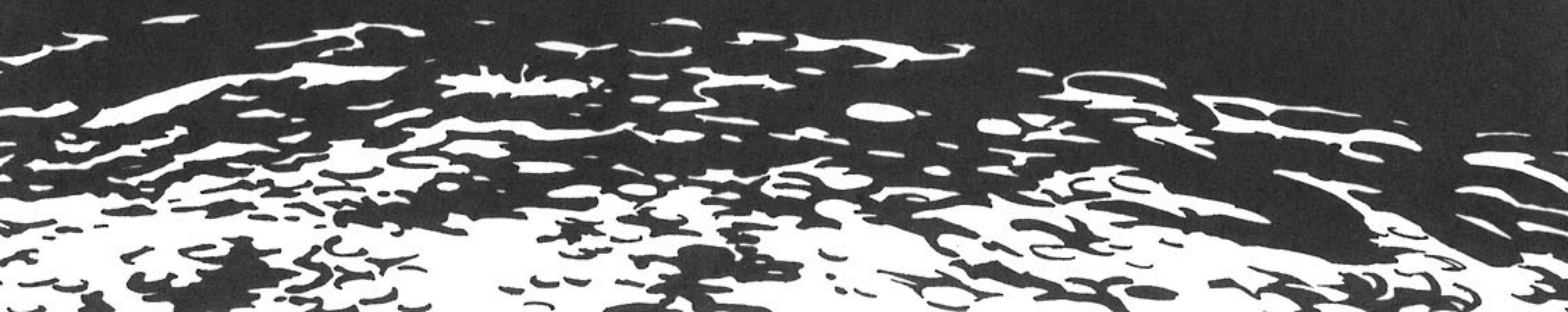
大きな...

窓...?



Scene 6

魔女の過去 I
- 神に仕えし悪魔の瞳 -



- ノーレッジ聖教会 敷地内 -
大庭園通路口

お嬢様

お嬢様？

お一人で
何処へ行かれるの
ですか？

今お外は物騒な事になつておりますので
一人で外出なされるのは
危険ですよ？

…あーもう

襲われるって…
ここ自分の敷地内じゃない
誰に襲われると言うのっ！

だってお外は危険で！
敷地内と言えど
もし不法に侵入した
賊に襲われでもしたら！
私！私…！

ふえうっ…！

びく！



貴女が居て私が居る所を
襲う命知らずなんか
居る訳無いでしょう！

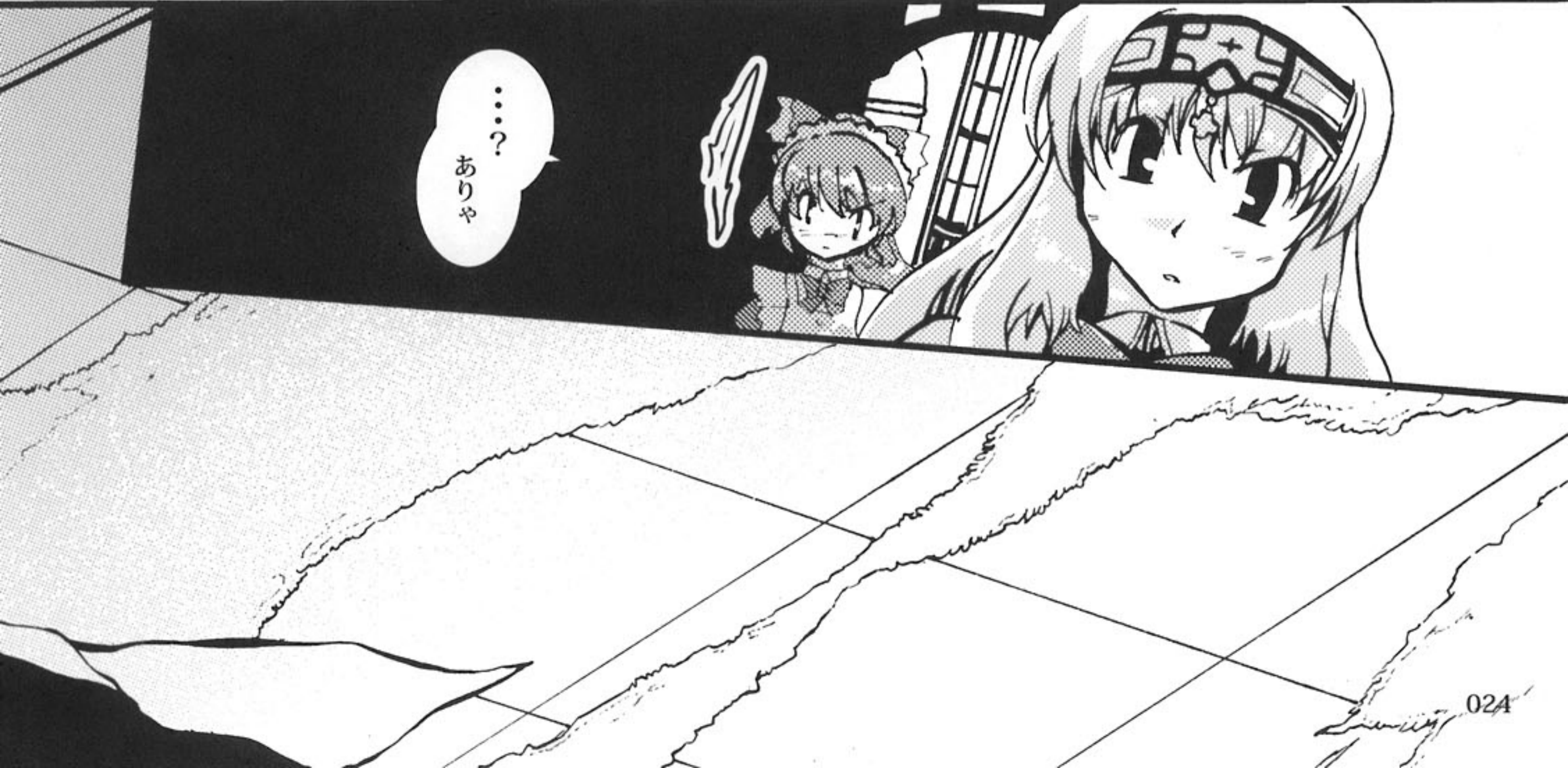
うまああん

あう…お嬢様あ！
お外は危険
なんですってばあ！
戻りましょうよ！

ったく…
スターったら…

本当…

心配性なん…



…？
ありや



誰か居る

どうしたの？
スター…



あらっ！
中々可愛い子じゃないっ

どうしたの？
迷い込んだじゃった？
この敷地
無駄に広いからね

失礼を
承知の上で
お尋ねします

蛇の目を思わせる様な
鋭く尖った瞳孔に
金色の色を放つ瞳の色

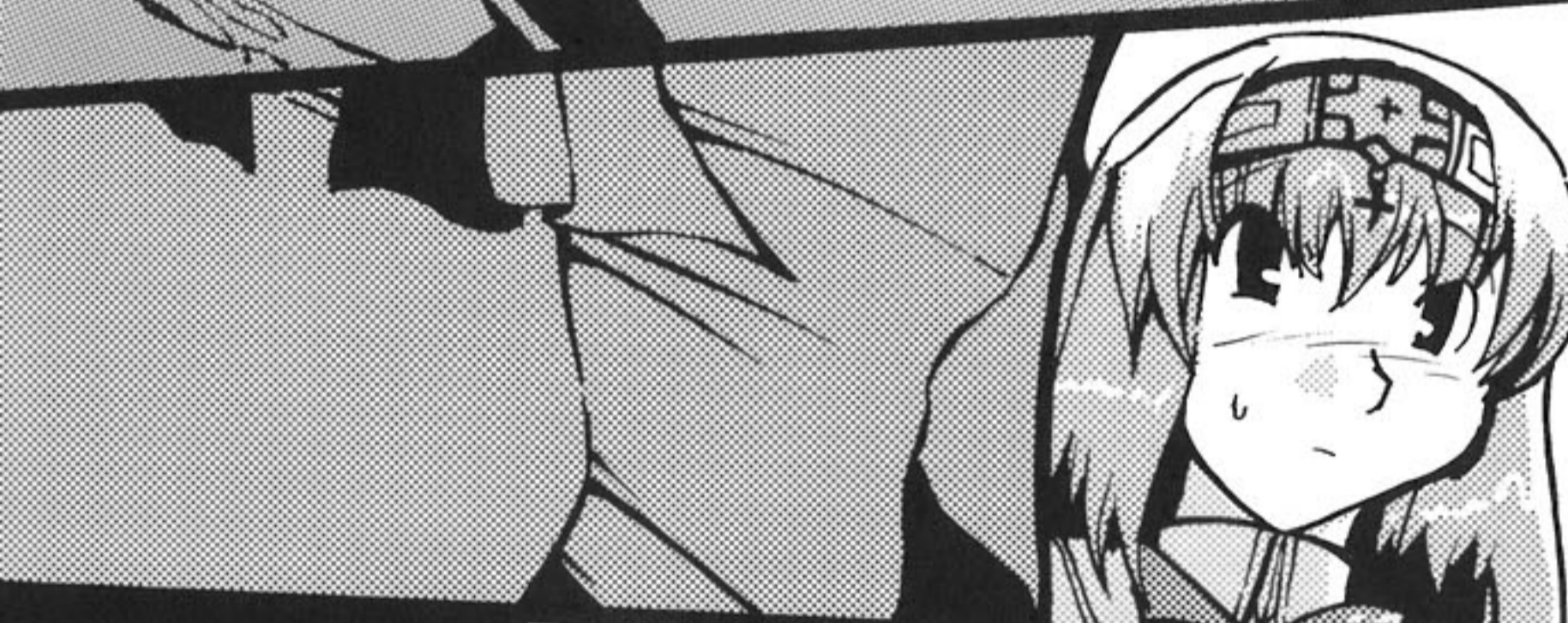




貴女……

魔女ですね

ウィッチ・クラフト



……

マウマ！
私は魔女！

こんどちは
お嬢さん！

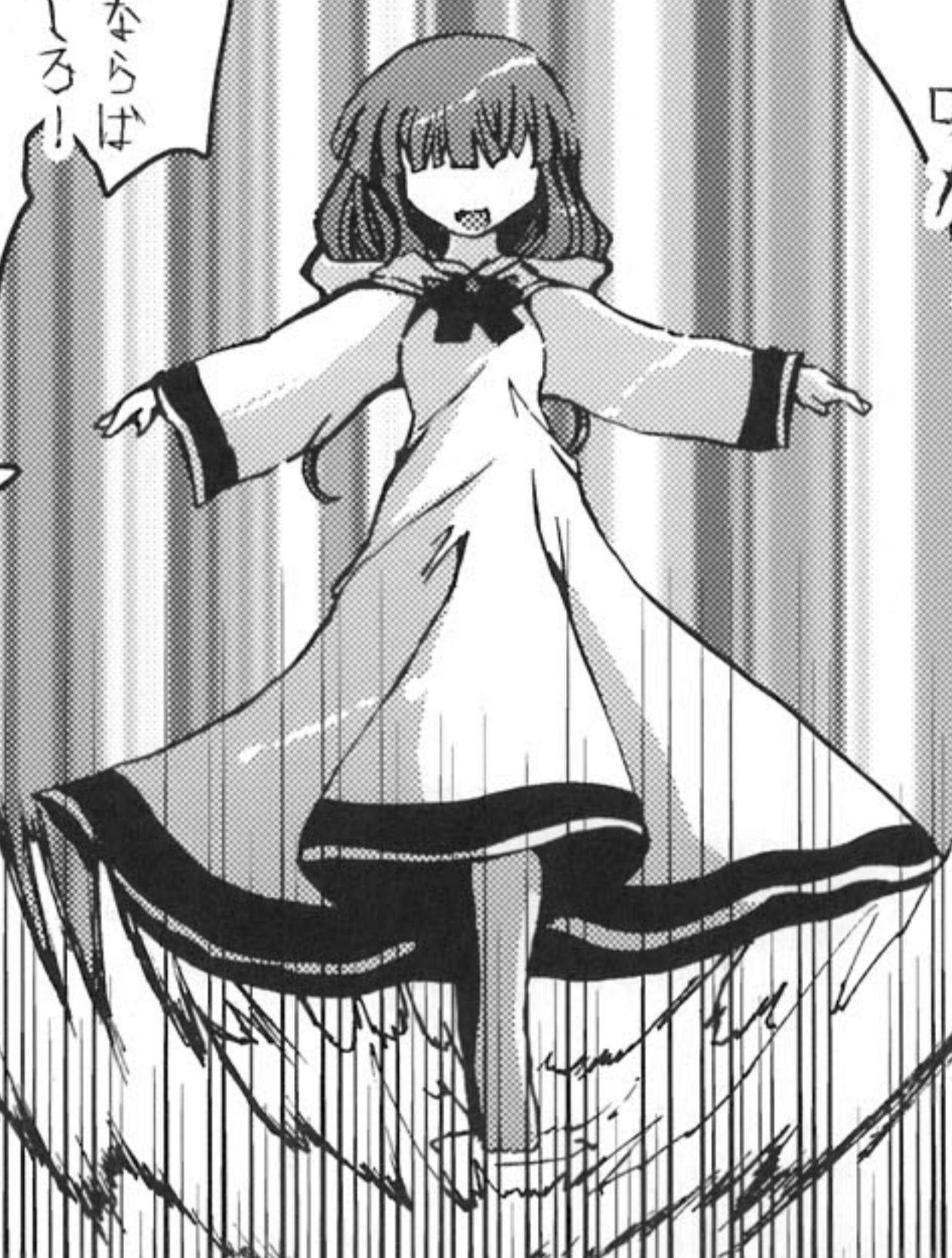
お前達が忌み嫌いな
迫害し続けマキタ
魔女マ！

自分地だからマ
油断をしていると魔女に
襲われるマ！

ナア泣けー叫ぶー！

己が身が大事ならば
ひれ伏し哀願しろ！

我はこの世に
闇をもたらす悪魔也！



お嬢様ごめんなさい！
少し手荒な真似を
働き…

待って！

ふえっ？



この子

蛇の瞳に金色を宿す異色の者

世界はその者達を魔界の者と認識し

世界は彼等を異端として扱い
魔の駆逐を目的とした世界各地で起きた
人非道的に一方大量虐殺行為——

通称

-魔女狩り-

震えてる——



辛かったでしょうに——

こんなに虚勢を張って



ふ…」

ふん…！

何をするつもりか
知らないけど

悪魔の子と呼ばれ
純魔力を持つ

魔力を持たない
ただの人間が

「ふん…」

この魔女にか

「おやうう！？」

スター！
これ持って帰るから
着替え用意して！
勿論可愛い系でっ！

…まったく
女の子がこんな汚い
格好するんじゃないわよ

はっ…

はっ…



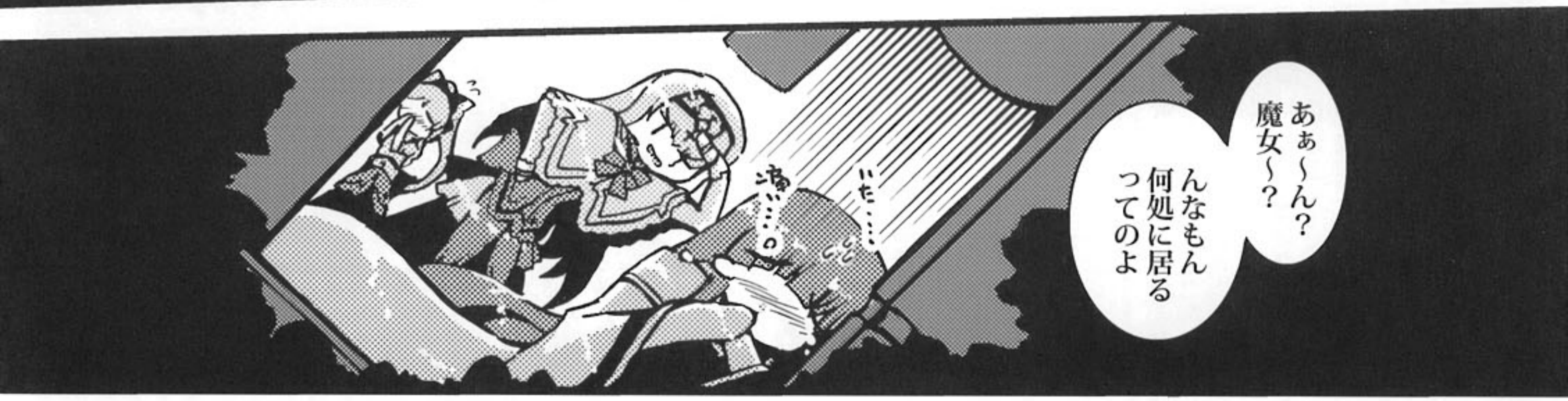
離しなさいよっ！

もって帰る!?
ばっかじゃないの

私は魔女よ!
魔女!
世界に闇を生む
悪魔の……!



ふん。



あゝん?
魔女??

んなもん
何処に居る
つてのよ

魔女が居るところか
私の目の前には

可愛く整った顔立ちに
綺麗な髪を持った
女の子しか居ないのだけど
スターはどう？

はい
お嬢様の
仰るとおり

私の目にも

お嬢様の仰る
女の子しか写りませんね
魔女なんて何処にも
居ませんよ♪



ばば〜っと
脱いじゃいましようか!

嫌っ

勝手に連れて来た上に
一歩的に脱げとか
アンタそっち系なの!?

気持ち悪い!

う?

身に纏ってる物
取らないと着替え
できないじゃないの

ねえ?

私は知りませーん!
知りませーん!



と云うか
そっち系って〜

大人しそうな
顔をして

一体何を想像
してたのかなあ〜?

べっ…別にっ!!

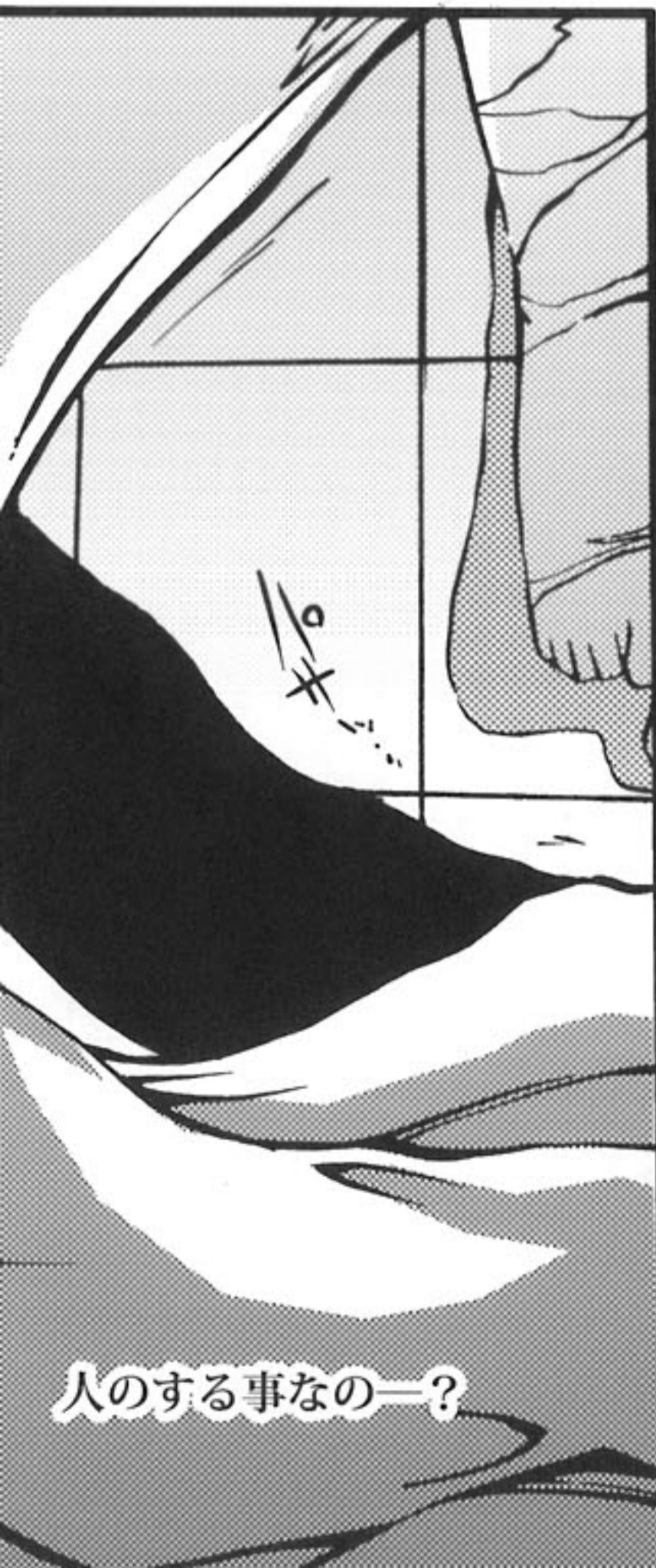
あれえ〜?

何で顔を真っ赤に
してるのかなあ?

あれえ〜?

あれえ〜?

ぐっ…



—— 余りにも酷過ぎる ——



ちょっと座っててね

スター…
椅子を

はい…



大丈夫
大丈夫だから



安心して
落ち着いて



少し
じつじつね

...φσκλδφηκ



Kyrie-

- Eleison -



はっ！
お疲れ様っ！



お！消える消える
綺麗さっぱり傷痕が
消滅したわねっ！



傷痕が…
全部消えてる…



自分の体
見てみて

お嬢様
こう言うのは
どうでしょうか？

お？
ちょっと見せて！

やっぱり女の子だし
肌は綺麗にしないとねっ

でわっ
失礼しまあ〜す♪

あう…
自分で着…

って!
何処触ってるのよ!

大丈夫よー♪
責任はちゃんと
取るからっ!

ちよ…
何をす
つもりっ!

ワタクシ好みの
ドレスを身に纏えば
完璧ねっ!

さてと
後はこの

アナタっ…!!!

にゅ?

だっ...
駄目よっ...

その...私...
するのは
慣れてるけど

されるのは
初めてだし...
どう反応すれば
いいかなんて
わかんないし...

一体何の話を
しているのかしらっ!?

それっ!

何を
血迷ってるか
知らないけれど
そうじゃなくって!
それよ!

その眼!

蛇の瞳孔に
金色の色を宿す
その眼...

あなた...

もしかして...



お嬢様

ヤです。

えく？
せっかく楽しく
なってきたのに

私…
まだ何も言っていない…

お嬢様
お嬢様
お嬢様



わん

ぽっ

いいわよもう
今日はアレよアレ
サボっちゃえっ

だっ…
駄目ですっ！
絶対駄目ッ！



真実を知る
覚悟があるのなら

付いてらっしゃら



はいはい…
ちゃんと行くから
その涙顔止めなさい

さて
そのアナタ

ううー…



どうして…



それにこの人…



成り行きで
付いてきたまでは
いいもの
ここどこだろう…



さつき見たあの眼…

あの眼は間違いなく
私と同じ魔女が持つ
特異の瞳のはず

大丈夫ですか？
顔色悪いですよ？

とさつきか

さつきから

妙に視線が痛い…

ヒューンヒューンヒューン...

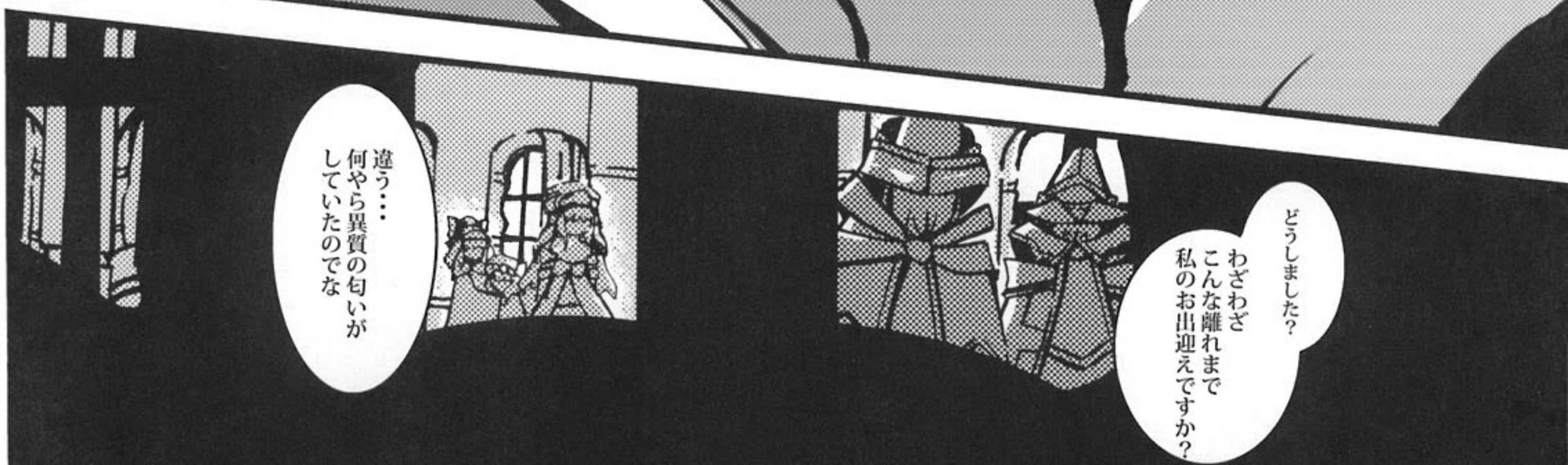




これはこれは
珍しい所でお会いしましたね



お父様



違う…
何やら異質の匂いが
していたのでな

どうしました？
わざわざ
こんな離れまで
私のお出迎えですか？



気に病みすぎなのでは
ありませんか？



…
こちらは変わり
ありませんよ



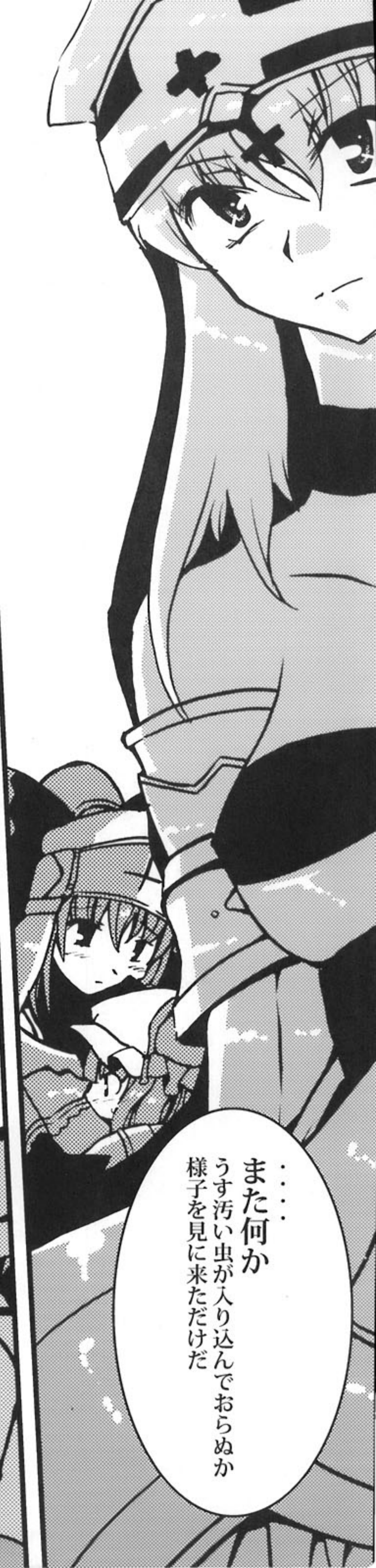
…
後程人を回して
おこう



これ以上
我が物顔で
好き勝手に飛び回られるのも
癪に障るのでな



虫は虫らしく



…
また何か
うす汚い虫が入り込んでおらぬか
様子を見に来ただけだ

地へたを這いザリ
回っておれば良いのだ

いんいん

遅れるなよ



がー

きやー

くら

やめてください
この子が驚く
じゃないですかっ！

あーもうっ！
何よあのヒゲ！
あつたまに来るったら
ありやしない！

言いたい事が
あるならばつきり
言いなさいよ！
ヒゲっ！



このノーレッジ聖教会を
統括している

現法王よ



あのヒゲ男は
ヴァアサーゴ・ロ
ノーレッジ



え…と。
私は大丈夫

ゆー…
ごめんね…
気分
悪かったですよ…



ひっ...



え...ちよ...
待って待ってっ!



教会!?!
何で私そんな所に
居るの!?

大丈夫よ!
安心して!

私は何もしないし
アナタを突き出したりも
しないから落ち着いて!



何て?



え?

今...



そうやって油断させて
警戒を解かせて
上手く丸め込んで
最後の最後に裏切って行く為の
下準備だったのね

普通に考えたら
おかしいわよね
私の正体をしりながらも

妙に馴れ馴れしく
してきては
親身になってあれこれと
手を差し伸べてたのも

…
そうよね…



何も可笑しな事無いわ

だってこれ
教会に属するヤツらの
魔女攻略の
常用手段なものね



私はそんな事
するつもりなんか

触るなっ！

は…
はははっ！

残念ね！お前達の
魂胆が読めた以上
そのでは通用しないわ！
あはっ…アハハハハ！

人の話は

ったく

何一人で暴走してんだか
人の話はちゃんと聞けって
習わなかったのかしら？

きやああああああああああ
大丈夫!?

ちゃんと聞け

理解しましたか？

理解したなら
返事をしなさいな

はっ…

いいですか？

私はあなたに危害を
加えないし
陥れる気も
これっぽちも無いのです